

八丈町 News Letter From Hachijyo Town Assembly 議会だより

No.

166

2013.5.25

議会だよりは八丈町のホームページでもご覧いただけます
http://www.town.hachijo.tokyo.jp/gikai/gikai_dayori/gikai_dayori.html



八丈町役場 旧庁舎での最終議会終了後に（3月28日）

目次

第1回八丈町議会定例会

平成25年3月1、13、14、26、28日開催

- 25年度は観光施策改革の年に…………… 2
- 一般質問…………… 3
- 第1回定例会の質疑から…………… 11

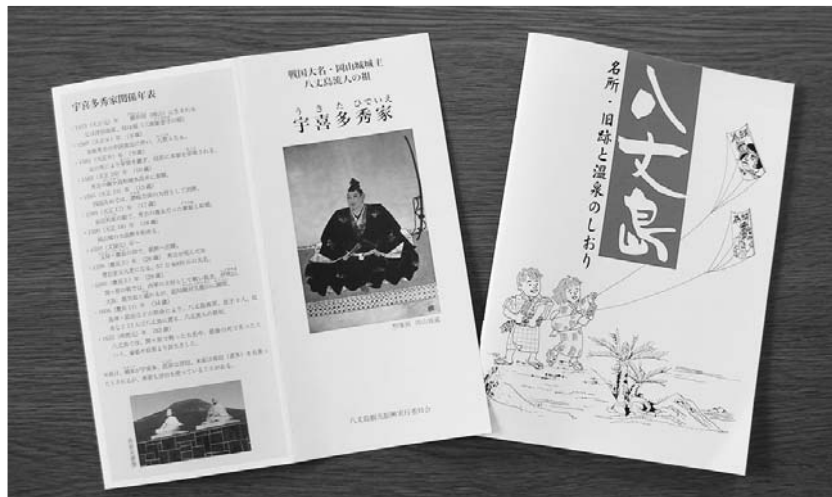
第1回八丈町定例議会

(平成25年3月1、13、14、26、28日開催)

25年度は観光施策改革の年に

3月議会の大きな内容は次年度の当初予算審議です。25年度一般会計予算が賛成多数（反対2名）で可決された他、すべての予算が了承可決されました。また新庁舎移転と共に行われる機構改革や施設利用料などの条例改正や多目的ホール（集会施設）設置条例など、多くの条例についても可決されました。

——3月定例会主な議決事項（12ページ）参照



八丈島観光振興実行委員会で作成した、「宇喜多秀家」のパンフレット（新規）と「八丈島 名所・旧跡と温泉のしおり」（改訂版）

観光施策については毎回のよう議論されますが、今回焦点となったのは23年に法人化した観光協会の経営破綻問題です。その背景には、旅行形態の変化による手数料収入の減少や未納だった消費税の支払いによる経営圧迫という背景があります。八丈町にとって観光施策は重要課題のひとつであり、言うまでもありませんが、この問題に関しては観光協会自身が進むべき方向性や具体的な予算などを明確にした上で、町はそれを協議・検討し、支援体制を考えていくとの見解でした。

一方、「民間活力の導入」を目的に、平成11年度に設置された八丈島観光振興実行委員会についてもかねてより多くの課題が指摘されてきました。が、今回も組織のあり方に関して「観光協会との一本化」「事業の査定体制や議会のチェック」などの意見が出されました。アクションプラン3（観光戦略のプラン）の最終年度である25年度は、26年度以降の新しい方向性を決めていく必要があります。現在、基盤整備部会（実行委員会の内部組織）が中心となり「組織の見直し」について検討しており、その上で協会および町など他組織との役割分担を明確にしていくとの説明でした。

また、町長自ら観光施策の転換期にきているとの認識を示し、今後とも議論を行っていききたいという方針を明確にしました。この「議会だより」が発行される6月上旬には、観光協会に対する町

の対応が具体的になっていく事を期待しています。多目的ホール（集会施設）運用開始に向けて、使用料、運営体制、ホール「おじゃれ」の名称決定プロセスや、新庁舎で働く職員の接遇教育などについても様々な意見が交わされたのも本議会の特徴でした。設備等で町民が不便だと感じる問題に対しては、修正可能なものについては対応していきたいとの事です。

さて、55年の間お世話になった現在の庁舎で行われる議会は本定例議会が最後となりました。6月議会はいよいよ新庁舎にて行われますが、新しい取り組みとして議会の一部（一般質問）映像がネット上に公開される予定です。また多くの方々に議会を傍聴していただきたいと思いますので、ぜひ新しい議場へ足をお運びいただけましたら幸いです。

防火水槽タンクの容量を増やす考えは

答

平成18年度以降、貯水量を大きくしている。



菊池 良 議員

◆所要時間 36分

問 昨年の暮れ、大賀郷の楊

梅ヶ原・楊梅ヶ原下の一部の世帯で、水に泥が混じったり、出が悪くなったという事態が発生した。大賀郷小学校の芝生化に伴い、消防団の操法訓練が大賀郷中学校で行われたためであったと聞いている。災害が起こって水道のライフラインが途絶えた時の緊急用水の利用に使うことも想定し、タンクの容量を増やすことを考えては。

答 消防長 放水訓練後、本管のバルブを開けて防火水

槽に充水したため、近隣住宅の水が濁ったり出が悪くなった。大変ご迷惑をおかけした。平成18年度以降、消防水利は防火水槽から耐震性貯水槽へと構造が強化された。貯水量も40立方メートルから60立方メートルへと大きくなった。

問 大賀郷護神から八重根まで都道の拡幅が予定されているが、安定的に水の供給が出来るように、水道管の径を太くする等の改修を検討しては。

答 企業課長 役場裏から八重根は、平成22年度に口径100ミリの配水管を布設。並行して、役場裏から大中下の五差路まで50ミリの配水管を布設。操法訓練は50ミリの配水管から取った。今後は配水方法、防火水槽への接続方法

を検討する。

問 災害が起こり、水道のライフラインが途絶えた時の緊急用水に使う想定は。

答 総務課長 防火水槽の水は年単位で溜まっているので使用しない。避難所である小中学校のプールの水を濾水機でろ過し使用する事が考えられる。水道管の耐震化の進み具合と避難所の位置、プールの位置関係で濾水機の導入を考える。

大賀郷中学校の夜間照明施設の整備を

答

平成26年度に整備を計画している

問 照明施設が、三根・坂上にあつて大賀郷だけがないというのは、教育の平等化、地域の公平化という観点からも、あつてはならないこと。この時期、大中の生徒だけ夕方のクラブ活動が出ない状態がずっと続いている。利用率が高く、PT

大賀郷中学校グラウンド



Aからの要望も数多く来ている。都立八丈高校の施設は利用に制限がある。設置調査はすでに終わっていると思うので早期設置を。

答 教育課長 平成26年度整備に向けて着手するように、事業計画に盛り込んでいく。どの程度の施設規模が適当か検討し取り組む。

問 町長 出来るだけ早く作りたい

と考える。昨年、プランは作ったが、1年間、規模などの中身を検討した上で平成26年度に実施する計画である。

●こんな質問もしました

質問 東京オリンピックの事前合宿地として、開催地決定前から手を上げてアピールしては

答 東京都に問い合わせた(問い合わせたのは八丈町が初めて)が、9月7日の開催地決定後でない要件が提示されないとのこと

質問 病気発生時等、島内関係機関で情報共有を行っているか

答 小中学校、高校、保育園、保健所、養和会等で連携し対策をとっている

八丈町における人口増加、定住促進策は

答

東京都離島振興計画素案の基本理念の一つに掲げている



山下 崇議員

◆所要時間 10分

今年度の八丈高校の卒業生68名のうち、2名しか島に残らないと聞いているが、18才人口の減少は即高齢化に結びつき危機感を覚える。

町 最近では国の出先機関の統廃合や無人化が進み人口流出も加速している。

一方、八丈町においては、東日本大震災の被災者受入事業を実施し、定住化に一定の成果をあげてきた。これまでの2年間で蓄積したノウハウをもとに、移住者受入の新たな枠組みを構築

する考えはないか。

町企画財政課長 11世帯30名が移住しており、八丈島を第二の故郷として末永く住んで頂きたい。コーディネートを担当したNPOや他の民間団体と共に官民一体となつて成果をあげる事ができた。資金面でも新しい公共事業交付金の利用ができた。東京都離島振興計画素案でも基本理念の一つに盛り込まれており、新たな枠組みについても前向きに検討したい。

町 国の施設等で使用していない施設の有効活用についても働きかけを行う考えはないか。

町企画財政課長 国の未利用施設については、法律により無償譲渡の対象とはな

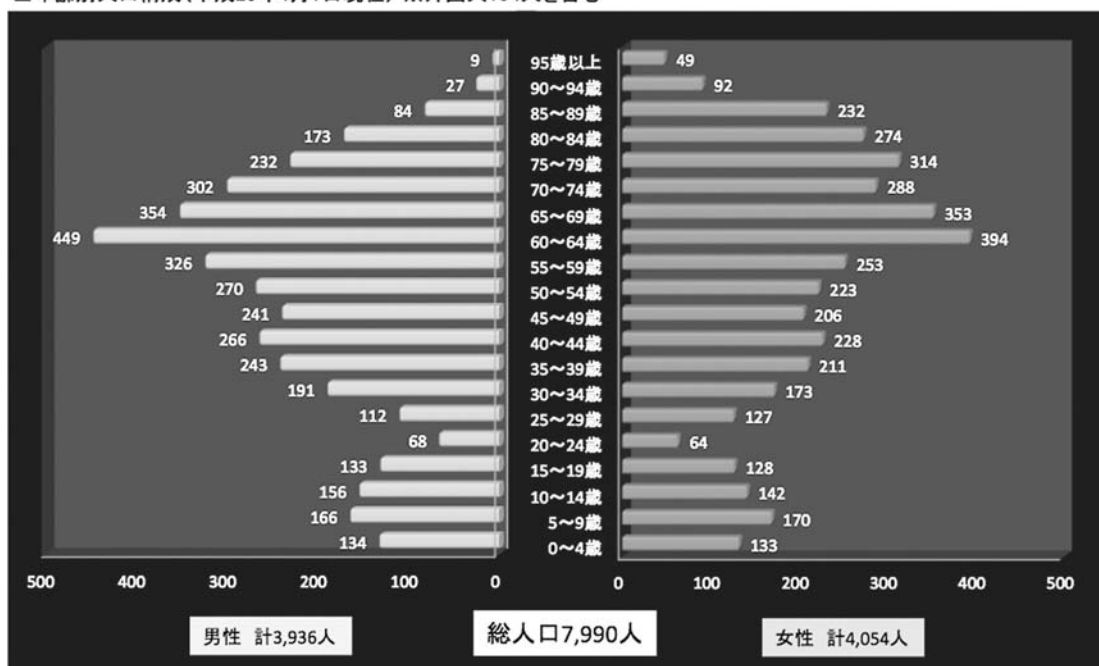
っていないが、動向を見ながら働きかけて行きたい。

町 原発事故の収束状況、帰還計画の動向を見ながら受

入窓口を閉鎖することなく続けて欲しい。

町総務課長 旅費等に関しては積極的に予算措置はできない。現在受入をしている住宅の定員までは受入を継続し、総務課を窓口として対応する。

■年齢別人口構成(平成25年4月1日現在) ※外国人104人を含む



八丈町ホームページより

学校教育における八丈方言のあり方は

答
基本スタンスは八丈町基本構想に基づくものである



廣江 才 議員

◆ 所要時間 18分

初めに地熱発電を核とした施策であるが、時代のニーズに合ったタイムリーな企画であり、観光誘致の面からも全国に向け強烈なインパクトを与えるものと考ええる。現状において詳細は不確かであるが、都と連携し住民の利点また農産業などを含め、あらゆる角度から検証しつつ進めてほしい。

図 学校教育において「島言葉を知り、広める活動を進める」とあるが、どのような方法を考えているか。

図 教育長 方言を話せない子供達、先生方の多い学校現場であるが、方言を話せる方の協力を得ながら子供達とお年寄りが交流学习という形を通して、方言の継承学習を進めていこうと考えている。

図 島言葉を含め言葉は絶えず流動的であり、八丈方言そのものが不確定的であり、特に学校教育の場に持ち込む場合、慎重に取り扱わなければならない。滅び行く方言に対し、単なる郷愁からであるならば、それは復古主義に連なりかねないと思う。もちろん、八丈方言の特異性、また継承することの意義、その必要性は認めている。八丈方言の成り立ちには地理的な背景、また歴史的な背景から生み出さ

れたものであり、その研究はまだ確立されているとはいえない。アイヌ語、本土語また琉球語との比較研究を深めなければ、到底、八丈方言の姿は見出せないと考えている。学校教育の中で方言学習を取り扱うならば、専門職員を配置し、言語学、歴史学を踏まえたカタチの高度なカリキュラムを組む必要があるのではないかと。

図 教育長 町の現状で専門職員を配置することができると言う問題がある。八丈方言の言語学的分析、研究については、文化庁国語課、国立国語研究所、大学の専門家の方々とパイプが繋がっている中で、さらに分析・研究を深める。方言の伝承活動についても、学校教育の中で進めることは賛成を頂いている。専門的な視野からのアドバイスを頂きながらカリキュラム作成を行おうと考えている。

図 教材としての八丈方言は、その特異性からも大いに研究する価値があり、す

ぐにも進める必要がある。方言を含め、史跡並びに文化を保護、継承することは、その国、その自治体、その住民のレベル、質の高さの証明であるのだから、八丈方言を教育の場に持ち込む場合、八丈島の歴史や文化を研究する中で、その研究の方法、向かい合う姿勢の中で方言に触れ合うことこそ、その求める学習としての整合性が生まれるのである。そうした明確

意味での教育であると考えている。
図 教育長 三原小学校の教育研究指定校の発表の中でも言語学という方面だけでなく、国語、理科、生活科、総合学習などいろいろな分野で方言を活用しながら学習して研究成果を発表した。創造的な学習にも方言学習は役立って行くと考えている。



三原小 教育研究指定校の発表

大里地区の保全について

答 文化財専門委員会と協議しながら対応していきたい



岩崎 由美 議員

◆所要時間 31分

して理解が得られない事などから、指定は難しいという結論に達した。

問 今後この地区の保存について、どのように考えるか。

島の重要な景観である玉石垣保全に関する指定は何もなされていない。都道拡幅計画も進められており、保存について再度議論する時期。

問 過去の経緯と制度制定へ合意形成ができなかった課題は。

答 教育課長 平成11年から13年度の調査結果を基に伝統的建造物群保存地区に選定されるよう計画。平成16年度に住民に意識調査を実施した結果、規制等に対

その場合は「大里地区へ」との意見や財政面もふまえて検討していきたい。

問 住民の合意が得られなかったとのことであるが、平成16年度の意識調査から時間も経過している。地区の方々と再度協議していく意向はあるか。

答 教育課長 大里地区が、景観的、文化的に価値が高いことは認識している。今後町の文化財専門委員会などで相談、知恵をいただきながら、対応できるものは対応していきたい。



大里の玉石垣

八丈町の住宅施策について

答 定住促進化に向けて、積極的に取り組んでいく

26年度から町営住宅家賃が改定される。また人口増加、定住促進化のためには「住宅と雇用」が鍵である。

問 町営住宅の家賃は、最大どのくらい上がる予定か。

答 建設課長 坂上地域の木造一戸建では家賃の値上げ幅は約4万8000円、家賃は月額10万円を超える。

問 転居者への空き家情報の斡旋はあるか。

答 建設課長 空き家の情報はないので、島内にある5社の不動産屋を紹介する。

問 定住促進化にむけて空き家を活用するしくみや、ハローワークのような雇用の

情報提供を検討するべきでは。

答 企画財政課長 定住促進に向けて積極的に取り組んでまいりたい。空き家バンクについてはハローワークを含め新たな定住施策の枠組みの中のひとつとして考える。まずは島内にある貸与可能な空き家の情報収集をしたい。

問 移住や住宅に関する対応は企画財政課、総務課、建設課に分かれているが、定住促進化施策についてひとつの窓口にまとめていくべきでは。

答 企画財政課長 町の役割として内部調整をしている。

●こんな質問もしました

問 消費税について島しよの減免措置が必要では
答 増税による影響は大きいと考えられるが、個別の施策で要望していく

歴史民俗資料館を末吉小学校に

答

資料館を末吉小学校に移転する
考えはない



奥山 幸子 議員

◆所要時間 41分

末吉小学校の閉校式に参加し、地元住民の、学校と地域に対する深い愛着と強い誇りを実感した。その思いを活かす道のひとつとして資料館の移転を提案する。

歴史民俗資料館を末吉小学校に移転する考えはないか。

答 教育課長・企画財政課長

資料館の建て替えについては、様々な案を検討中であるが大里地区が有力で、末吉小学校への移転は考え

ていない。跡地利用については地元住民との話し合いを進めていて、合意の上で進める。利用方法は未決定。現在合意が取れたのは、施設を複合的（スポーツ研修施設と特産品加工所など）に利用すること。交流する方々が、地域の課題を解決できる施設利用を考えた

。末吉小学校の歴史を次の世代に継承していく施策を考えているか。

答 教育課長 閉校した檜

立、中之郷、末吉小学校のメモリアルコーナーを三原小に作る計画があり、末小の資料を残すことは可能

汚泥再生処理センターにおける堆肥化の規模拡大を

答

どのように拡大するか検討したい

住民の関心が高まっているにも関わらず、循環型社会にむけた取り組み、クリーンアイランドを標榜する八丈島にあつて、進んでいないのが生ごみ処理の問題である。

汚泥再生処理センターにおける堆肥化の規模を拡大できないか。

答 企画財政課主幹 分解で

きないものが入っていない生ごみとして給食残菜を使っているの、一般家庭の生ごみは対象にならない。

家庭ごみではなく、老人ホームや保育園の生ごみをセンターで処理できないか。

答 企画財政課主幹 分別された生ごみであれば、受け

入れる余地があるので、どのように拡大するか検討したい。

答 生ごみ処理問題検討協議会で、生ごみ処理の最善策の検討を。

答 住民課長 生ごみは総量の約三分の一。1トあたり5万円の処理費用がかかっている。コンポストの支給を増やすなど生ごみを減らす努力はしている。



汚泥再生処理センターで生成された堆肥

答 目標は定めているが、1年ごとに計画し、結果を出していくのは難しい。

答 目標は定めているが、1年ごとに計画し、結果を出していくのは難しい。

●こんな質問もしました

質問 離島振興法改正にもなう特区案はどのように具体化させるのか

答 住民のアイデアを募り、島の振興に何が必要かを国に提案していく

観光協会への支援をどうするのか

答 協会業務内容等を精査してもらう事が最優先



水野 佳子 議員

◆所要時間 13分

を受けて、町と観光協会と話し合いを持ち、具体的にどの部分を改善して、どのような支援が出来るのかを協議検討していきたい。

観光振興実行委員会の組織の見直しを

答 八丈島観光振興実行委員会と観光協会との役割分担を明確に出来るような協議が必要

岡観光協会が資金難のために存続の危機を迎えている。昨年、一般社団法人として再スタートしたが、この3月末の決算では600万円近くの赤字が見込まれ、事業の大幅な減少や、スタッフの給料も払えないのが現状。今後どのような支援を行うのか。

岡 産業観光課長 観光協会自身として、会員も含めて観光協会の組織体制や今後の自己努力を含めた協会業務内容等を精査してもらうことが最優先。そのこと

岡 以前より事業の評価や見直しが求められている。民間の力を活用して、観光の活性化を目的とし、14年前に設置された。私自身、島の観光を何とかしたいの思いから公募の委員の一人として参加しているが、事務局が町にあり、実情とし

ては町主導の組織になっているのではないだろうか、早急な組織の見直しが必要と考える。より効果的な観光客誘致のためにも、観光協会との一本化も含め検討すべき。

岡 産業観光課長 平成25

年度、イベント等の新規採択には事業効果・検証・見直しが出来るような事業要綱を作成して事業採択する取組みを考えている。組織の見直しは基盤整備部会で検討しているが、観光協会との一本化は観光協会の経営改善と同時進行で検討していかなければならない。八丈島観光振興実行委員会と観光協会との役割分担を明確に出来るような協議をしていく必要があると考える。

岡山市と積極的に交流の提携を

答 八丈町商工会と岡山市連合町内会関係団体との友好・交流提携を結ぶことになった

岡 宇喜多秀家公ゆかりの地、岡山市から八丈町と更なる絆を深めるために友好・交流の提携を結びたいとの要望が以前より届いている。この数年間、民間での交流が活発になり多くの市民や観光客が来島している。一時的なブームで終わらせるのではなく、岡山市の熱い想いを受け止め積極的に交流の提携を結ぶべき

岡 産業観光課長 民間での交流を主体として今後も考えている。準備を進めた結果、3月15日に八丈町商工会と岡山市連合町内会関係団体との友好・交流提携を結ぶことになった。

である。



南原にある宇喜多秀家と豪姫の像

地熱発電所から出る戻し湯を自由に利用できるように

答

東京都に協力しながら行う「八丈島再生可能エネルギー利用検討委員会」で検討される



山下 松邦 議員

◆所要時間 11分

にして進めたらと思う。

〔答〕企画財政課主幹 地熱

閼東地熱発電で使用済みの100度近くのお湯は、法規制により地中に埋め戻されると聞いている。これから進められる東京都と連携した地熱発電では、離島振興法の特区制度を活用して、戻し湯を自由に利用できるようにしては。温泉プール、露天風呂、小中学校のプール、温室、家庭の風呂・暖房等と実現すれば最高のモデル地域となり、視察も殺到すると考える。それにあたっては地熱発電先進国のアイスランドを参考

にして進めたらと思う。〔答〕企画財政課主幹 地熱発電所からでるお湯を活用できれば、さらに地熱エネルギー利用の幅が広がると考えている。地熱発電により発生する余剰エネルギーの活用方法を考えなければならぬが、具体的には東京都と協力しながら行う、「八丈島再生可能エネルギー利用検討委員会」で、これからの利用方法も含め検討されることになる。その中で、水質汚濁防止法の趣旨を踏まえながら、臭気対策を講じたうえで、お湯の発電所敷地以外での活用や、還元処理などの特区を含めた規制緩和措置が可能かどうか検討しなければならぬ。アイスランドの事例も参考にする。

多目的ホール完成を機に民主音楽協会を招聘しては

答

民主音楽協会が多く、島の住民が集まる、島外から人を呼べる企画を立ててホールを活用してもらいたい

閼昭和38年に設立された民主音楽協会（略称…民音）は、クラシックからポピュラー、歌謡曲、伝統芸能に至る幅広いジャンルの良質な音楽をより多くの人々に提供するだけでなく、世界各国の文化団体との交流や国際音楽コンクール、学校コンサート開催など未来の人材発掘や青少年の情操教育に寄与する多角的な音楽文化運動を展開している。

民音の目指すものと八丈町多目的ホール設置目的は完全に一致している。ホール完成を機に民音を招聘しては。

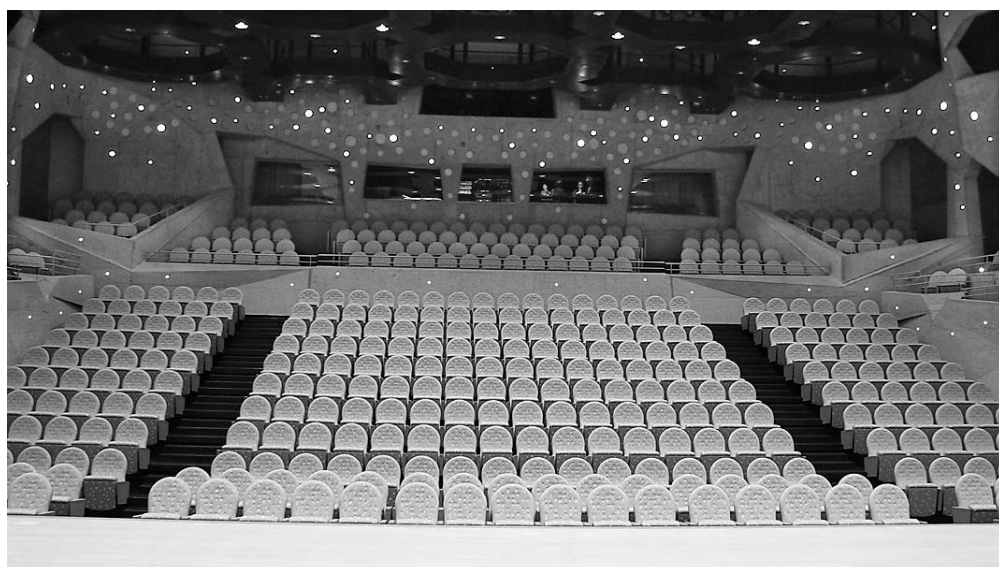
〔答〕教育課長 多目的ホールの活用は、島内、島外を問わず、一般の方からプロ

の音楽家によるコンサートなど広く、そして多くの方々に利用していただくことを考えている。是非、民主音楽協会が多くの住民が集まる、島外からも人を呼べる企画を立て、多目的ホールを大いに活用してもらいたい。

実施に向け町も取り組めることは取り組みたい。

〔答〕民音に限りなく、い

ろいろな団体にPR、周知活動をするのは大切であると考えている。その中でどのような取り組みができるか検討する。



多目的ホール

富士登山道整備工事は住民、関係者、議会と協議し進めるべき

答 環境省の自然保護官、議会、関係者の合意のもと進める



菊池 睦男 議員

◆所要時間 51分

説明。住民…説明会等は実施していない。

岡 執行協議書に土壌流出防止とあるが、コンクリートスロープ下側の雨水の流沫処理が施されず、ますます浸食がひどくなるのは火を見るより明らか。土壌浸食の屋上屋を架する設計と工法のミスではないか。

岡 末端に碎石を敷き均し散らすとともに、水の集中を避けるために既存の7ヶ所の排水場所に水切りを行い、集中しないような工法となっている。

岡 コンクリート工法ではなく、石、自然木、擬木等を用い、雨水はそこそこに浸透させて、自然景観にマッチした極めて抑制的な小規模な改良事業にとどめ、登

山者の安全と利用の増進を図るべきではないか。

岡 次年度の施工に関しては、小規模な改良事業を考慮するとともに、具体的な工法等に関しては経済企業委員会をはじめ、議会に相談しながら執行する。

岡 平成24年度一般会計補正予算審議で、私と同僚議員の質問に応えた町長の答弁「コンクリートはもつての外、予算は通っているが長い目で見る必要がある。経済企業委員会に相談してじっくり考える」（議会だより165号参照）と、どう整合するのか。議会無視ではないか。

岡 自然や景観に配慮しての工法で実施させていただきたいということでした。景観面でのコンクリート構造物への着色や安全面での滑り止めなどは、実施する前段階での細かい部分の説明について、経済企業委員会や議員への説明不足を認識している。

岡 「自然利用の指針」が必要。

岡 環境への影響、安全面などの項目について準備を進める。

岡 住民、関係者、議会との協議なしに進めることは許されない。

岡 見直しも含めて環境省の自然保護官、議会、関係者に説明し合意のもと実施したい。

岡 町長はこの問題についてどう考えるか。

岡 町長 今後は富士山をやるか三原山をやるかを含め、現場を見ながら経済企業委員の皆さんと相談したい。この件についてはお詫びをいたします。

●こんな質問もしました

質問 救急業務におけるAED事業の課題や問題点は

答 救急講習会の普及、推進を課題として取り組んでいる。問題点はない

【ほかAED事業についての質問4件】

質問 浄化槽設置事業、ガイドブック作成と地区総会で説明を

答 白黒のパンフレットはあるが、カラー化を考える。他の会合時でも可能な限り説明を行う

【ほか浄化槽設置事業の取り組みについての質問4件】

質問 地熱、波力以外の自然エネルギーの活用は

答 風力は小型、波力は網漁業関係者の理解を得ながら進めたい。

【ほか再生可能エネルギーについての質問1件】

第一回定例会の質疑から

多目的ホール使用料・運営は

奥山幸子議員 当初予算歳入、使用料137万6000円の積算根拠は。

教育課長 平日及び土日の夜間の使用料1万4400円、土日の昼間1万2000円が各4回。練習で使用する場合、昼500円、夜間600円なので各8回。これを1年分として8月からの運用なので8カ月で積算した。



奥山幸子議員

舞台装置等技術支援委託料500万円、何時までも委託するのでなく職員等が技術を習得するべきでは。

教育課長 音響、照明、舞台等、特殊技術を必要とす

るが、今後は職員、島内の方々に研修をして、島の中で行える体制が組めると考えている。

奥山幸子議員 管理運営支援委託は何処に委託か。

教育課長 これから決める。様々な団体を呼び、施設をまわすため今年は予算計上しているが、例えば運営協議会などの団体が継承し、島の中で行う形を考えている。

岩崎由美議員 ホール運営は運営協議会と話し合いを実施していると思うが、進捗状況は。

教育課長 昨年6月に公募、6回会議開催。運営計画を作ってもらい、それに基づき細かい規定、マニュアル等を作る予定。12月で任期が切れたが、任意団体という事で月1回集まって

どういったことができるのか検討中。

【愛称（おじゃれ） 決定に至った公募の詳細は。ホールを積極的にPRしていく考えは。等の質問あり】

ゴミ問題、ゴミにあまりお金をかけてはいけない

山下崇議員 伐採木を、バイオマスボイラーの普及を通してマキとして有効活用するなどの方向性は。

住民課長 ゴミ処理問題協議会等に諮り、町の施策として考える。

奥山幸子議員 ダンボール処理費は出す量を事業者が申告する形だが、町が出す量を把握し見積もらないと町の負担が増えていく。

住民課長 妥当でないことが発覚した場合、出向いて聞き取り調査をしている。公平になるような課金制度も考えたい。

廣江才議員 最初ダンボールを売る形であったが、毎

年有償となっている。減らす方向を考えるべき。

住民課長 キロ11円であったが今は15円で積算。今後、リサイクルに掛かる費用が莫大になることが明らかになってきたので、削減、資源化でなるべく費用が掛からない方法を考える。

【ペットボトル、発泡スチロールのリサイクルは事業として回転しているか。等の質問あり】

三根公民館の建替えは

奥山博文議員



三根公民館の建替えの方向性を早急に示せ。

町長 選挙公約でもあるので実施したい。方向性を固めてから住民説明会を行う。

新庁舎移転に伴う職員教育を

奥山博文議員 始めて来庁される方で戸惑う方も多い

と思うが、挨拶等の職員教育は出来ているか。

総務課長 平成24年度に人材育成の方針を立ててはいるが、挨拶、接遇に対し再度徹底する。新庁舎では研修の一環として管理職と新規採用職員がペアになり、玄関から入ってくるお客様を案内する。

【職員採用試験を早い時期に実施できないか。町職員の技術者が不足している、現職員から技術者を育てる考えは。等の質問あり】

その他

◎町制60周年に向け町歌をつくる考えは

◎パブリックロードレース上位3名位が東京マラソンに優先枠で参加できるように東京都に要望を

◎扶助費が増えている、行政がどこまでかわるか

◎町役場バス停は、新庁舎移転に伴いどこになるか

◎白内障手術希望者数を把握して計画的実施を

◎院外処方への移行行程はなども質問しました。

町ナビ

天候に恵まれた今年のゴールデンウィーク。島には多くの観光客が訪れ、爽やかな5月の風の中で、輝く新緑を楽しんだ。色とりどりのテントで埋まったのがリニューアルしたばかりの底土野営場。外国人など多くのキャンパーが、島の自然の中でのひとときを過ごした。



3月定例会主な議決事項

- 専決処分事項の報告及び承認について
(損害賠償の額の決定について)
 - 八丈町監査委員の選任の同意について
ほか同意2件
 - 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
 - 平成24年度八丈町一般会計補正予算
ほか補正予算14件
 - 中道伊郷名線道路改良工事請負契約の変更
ほか契約6件
 - 平成25年度八丈町一般会計予算
ほか当初予算8件
 - 八丈町火葬場の指定管理者の指定について
 - 八丈町組織条例の一部を改正する条例
ほか条例制定・廃止・改正21件
 - 議員の派遣について
(平成25年度東京都町村議会議員講演会)
ほか議員派遣3件
 - 八丈町辺地総合整備計画の策定について
- 協議会開催
経済企業協議会・総務文教協議会
平成25年2月4日開催
- 全員協議会
平成25年2月12日開催
- 平成25年度事業計画について

編集後記

旧庁舎での定例会も最後となり、第2回定例会からは新しい庁舎での審議となります。議会は平日の昼間に開催されるため、住民の皆様には中々傍聴して頂くことができません。そのため、他の自治体ではインターネットを

使ったビデオ配信を行うなどの工夫をしています。私たち八丈町議会も、ビデオ配信を行うことになりました。当面は一般質問に限りて放映します。どうぞお楽しみに。

山下 崇

発行人 八丈町議会議長 小澤一美

編集 議会だより編集委員会 委員 山下崇 岩崎由美 水野佳子 奥山幸子

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷2551-2 tel 04996-2-2788 fax 04996-2-5575